

【がん種】 [慢性リンパ性白血病](#)
 【レジメン名】 R-Venetoclax①用量漸増期
 【登録番号】 011805
 【1コースの期間】 5週間
 【投与間隔調整規定】 なし
 【総コース数】 1コースまで(終了後にPDでなければR-Venetoclax②R併用維持投与期を施行する)
 【催吐性リスク】 最小度～軽度:ベネクレクタ
 【抗がん剤の組織障害性】 -
 【投与量に制限のある薬剤】 なし
 【主な有害事象】 白血球減少、好中球数減少、貧血、血小板数減少、疲労、間質性肺炎、悪心、嘔吐、食欲不振、口腔粘膜炎、下痢、腫瘍崩壊症候群

 【必要な検査】 一般採血、カリウム、カルシウム、リン、尿酸、クレアチニン
 【根拠論文】 N Engl J Med 2018 22:378:1107-1120.

 【点滴の時間】 -
 【その他】 対象:慢性リンパ性白血病(CLL)、小リンパ球性リンパ腫(SLL)

Rp	薬剤名	量	投与方法	投与時間	投与日																														
					0	1	...	7	8	...	14	15	...	21	22	...	28	29	...	35															
1	飲水	2 L	経口	1日かけて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
2	ベネクレクタ錠	20 mg	内服	1日1回朝食後		○	○	○																											
3	ベネクレクタ錠	50 mg	内服	1日1回朝食後					○	○																									
4	ベネクレクタ錠	100 mg	内服	1日1回朝食後										○	○	○																			
5	ベネクレクタ錠	200 mg	内服	1日1回朝食後																							○	○	○						
6	ベネクレクタ錠	400 mg	内服	1日1回朝食後																													○	○	○

【R-Venetoclax①用量漸増期減量・休薬・中止基準】

ベネクレクスタ 添付文書 2021年3月改訂(第5版)

減量	ベネクレクスタ
標準	400mg/日
1段階	300mg/日
2段階	200mg/日
3段階	中止

有害事象	Grade	用量調整
好中球数減少	3以上	休薬し、Grade1以下に改善後、同量で再開する。
	再び3以上	休薬し、Grade1以下に改善後、1段階減少して再開する。
血小板数減少 8日以上継続	3以上	休薬し、Grade1以下に改善後、同量で再開する。
血小板数減少が再度出現	再び3以上	休薬し、Grade1以下に改善後、1段階減少して再開する。
好中球数減少、血小板数減少、リンパ球数減少以外の血液毒性	3以上	休薬し、Grade1以下に改善後、同量で再開する。
	再び3以上	休薬し、Grade1以下に改善後、1段階減少して再開する。
腫瘍崩壊症候群	-	腫瘍崩壊症候群が消失するまで休薬し、消失後は休薬前と同量 or 1段階減量して再開する。 2週間以上の休薬を要した場合、1段階減量して再開する。
非血液毒性(腫瘍崩壊症候群を除く)	3以上	休薬し、Grade1以下に改善後、同量で再開する。
	再び3以上	休薬し、Grade1以下に改善後、1段階減少して再開する。